

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年 6月11日（火）

2 確認箇所

1～4号機取水路開渠（海側遮水壁近傍）

3 確認項目

メガフロート内のバラスト水処理作業の進捗状況等

4 確認結果の概要

東日本大震災により発生した5/6号機建屋滞留水を一時的に貯留するために活用したメガフロートについて、今後津波が発生した際に漂流し、周辺設備を損傷させるリスクがあることから、1～4号機取水路開渠内に着底させ、護岸及び物揚場として活用される計画となっている。

今年度確認したメガフロート着底に向けた準備作業である「防衝盛土設置状況（5月7日）」、「メガフロート移設（5月17日）」、「メガフロートを着底させるためのマウンド造成工事（5月22日）」に引き続き、「メガフロート内のバラスト水処理作業の進捗状況等」を確認した。

- ・今回は、メガフロートのバラスト水移送配管とバラスト水受入ハウス、水移送車両及びそれらの移送配管接続状況や漏えい拡大防止対策を確認した。

（写真1）

- ・メガフロート内のバラスト水処理作業は5月28日から開始されている。
- ・メガフロート内のバラスト水はポンプを用いて汲み上げ、移送配管を用いて4号機タービン建屋南東側のバラスト水受入ハウスまで移送する。その後、専用の水移送車両を用いて、5/6号機滞留水貯留設備受入タンクまたは貯留タンクまで輸送し、5/6号機淡水化装置を用いて浄化处理される。
- ・東京電力によると、メガフロート内部はバラスト水を用いた水圧洗浄等により除染を行う予定であるが、現在は水抜き作業中であるため、除染作業は開始していないとのことであった。
- ・作業は順調に進んでおり、来年の1月から2月頃までにバラスト水処理・内部除染作業を終了させ、その後、メガフロートの着底作業を開始する予定とのことであった。



(写真1-1)
メガフロートからバラスト水受入
ハウスまでの移送配管



(写真1-2)
バラスト水受入ハウス



(写真1-3)
バラスト水を移送するための車両
(バラスト水受入ハウス内)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。